

かたちと計算と数学

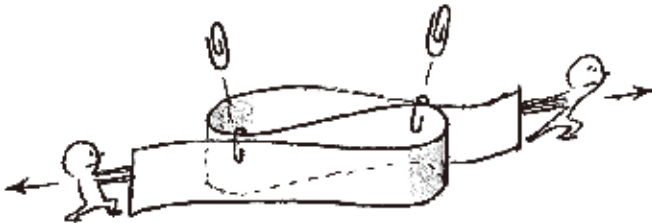
数理解析研究所における「国際共同利用・共同研究拠点」の発足を記念して一般向け講演会を開催いたします。数学にはいろいろな幾何学がありますが、自然の中にあるかたちをとらえる幾何学も一つではありませんし、今も新しい幾何学が創案されつづけています。また、数学ではいろいろな計算が現れますが、計算の背後には具体的なおもしろい現象や直観が躍動しています。このような幾何学や計算についてご紹介します。

講演者



“Some geometries to describe nature”
「自然をとらえるいろいろな幾何学」(同時通訳あり)

Christiane Rousseau
モントリオール大学 教授



「数もなし式もなしの計算」

時枝 正
スタンフォード大学 教授

2019年3月28日 木

14時～(開場13時30分)

京都大学北部総合教育研究棟 益川ホール

事前登録制：先着150名 入場無料

日本語・英語(同時通訳あり)



14:00	開会挨拶・拠点概要説明 山田 道夫 京都大学 数理解析研究所長
14:15	来賓挨拶 西井 知紀 文部科学省研究振興局学術機関課長 湊 長博 京都大学プロボスト、理事・副学長 森 重文 京都大学高等研究院長 国際数学連合 (IMU) 前総裁
14:40	記念講演 I “Some geometries to describe nature” 「自然をとらえるいろいろな幾何学」(同時通訳あり) Christiane Rousseau モントリオール大学 教授
15:20	記念講演 II 「数もなし式もなしの計算」 時枝 正 スタンフォード大学 教授
16:00	閉会の挨拶 玉川 安騎男 京都大学 数理解析研究所副所長

講演タイトル

“Some geometries to describe nature”
「自然をとらえるいろいろな幾何学」(同時通訳あり)

講演：Christiane Rousseau
モントリオール大学 教授

古代から数学は、さまざまな科学に必要なモデルを作ったり身のまわりの世界を記述し理解するための発達してきました。この講演では、現代の科学で重要な役割を演じる幾何学的なモデルをいくつか紹介します。自然に現れるさまざまなかたちを記述するフラクタル幾何学や、1973年にハリー・ブラムが提案した、動物の形の記述のための新しい幾何学に触れたいと思います。

講演タイトル

「数もなし式もなしの計算」

講演：時枝 正
スタンフォード大学 教授

今宵の出し物はちょっとふしぎな一連の手法です。そしてみなさんは意識してなくても「計算」をなさることがあり、しかも初めて遭う対象についても「計算」がおできになってしまうことがある、それをご覧に入れましょう。

参加申込：先着 150 名 (入場無料) 締切：3月25日 (月) 正午

参加ご希望の方は、以下のいずれかの方法でお申込み下さい。
後日入場証をお送り致します。

1. 参加申込フォーム <https://cscenter.co.jp/kyoten/>
2. ハガキまたは FAX
 - (1) 氏名 (ふりがな)
 - (2) 連絡先 (メールアドレス、FAX 番号、住所のいずれか) をお書き添えの上、下記のお問合せ先までお申込み下さい。

京都大学北部総合教育研究棟 益川ホール
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町



◆アクセス

京阪「出町柳」駅より徒歩約20分/JR、近鉄「京都」駅より市バス等で約45分
阪急「河原町」駅(四条河原町)より市バス等で約30分

《お問合せ先》

京都大学数理解析研究所 国際共同利用・共同研究拠点キックオフシンポジウム事務局
(株)CSセンター内 〒604-8141 京都市中京区泉正寺町334番地 日昇ビル5階
TEL: 075-241-9620 FAX: 075-241-9692
e-mail: kyoten@cscenter.co.jp
<https://cscenter.co.jp/kyoten/>

*参加の皆様様の情報を適切に保護し、本シンポジウムの開催・受付の目的以外は利用致しません。

